

## 祝！ 兵庫県キャンプ協会 設立20周年



兵庫県キャンプ協会 会長 桑田 千照

ここに兵庫県キャンプ協会設立20周年を迎えることができ心より感謝申し上げます。

兵庫県キャンプ協会の20年のあゆみを顧みますと、兵庫県は歴史的に見ても野外活動の先進県で、県下各地に野外活動指導者組織（野協）が作られておりました。1966年に日本キャンプ協会が設立され、キャンプ指導者の受け皿として、1976年兵庫県教育委員会体育保健課が中心となって兵庫県野外教育活動指導者連盟ができました。全国的に都道府県キャンプ協会の設立の動きができ、兵庫県では1988年に指導者連盟の看板の架け替えではなく、新たな組織として兵庫県キャンプ協会として設立されました。

20年前の設立趣意書には、「近年、物質文明の発展のおかげで、私たちがとりまく社会は大きく変化し、みかけの上では大変豊かな生活が出来るようになりました。しかしながら、開発に伴う自然破壊、化石燃料の大量使用による大気汚染の進行、あるいは物質優先主義による人心の荒廃など、失ったもの、失いつつあるものも少なくなく、今ほど自然環境や社会、人間のあり方を問われているときはありません。そのような中で、自然の中での生活体験や諸活動を通して、自然と人間の関わり方などを知る事の出来るキャンプ活動がますます重要になってきました。」と記してあり、まさしく今キャンプ協会に課せられた使命と感じています。

発足当時41名の会員から現在約600名の会員を有する団体へと成長してきましたことは会員の皆様のご理解、ご協力のおかげと感謝しております。

この間に、発足4年の1992年に「国際キャンプフェスティバル」10周年の1998年に「ジャパン・キャンピング・フェスティバル」と2回の全国キャンプ大会を主管し、5周年の時から、日本キャンプ協会に先駆け、会員の研究・活動助成制度を取り入れ、「都市のもつ物の豊かさや便利さ、田舎のもつ自然や人のふれあいの豊かさ、年輩者の生活の知恵と若者のエネルギー、これらを相互に確認しあいながら、真に豊かに生きるとは何かを一緒に考えてみよう」と丹波自然塾を実施してまいりました。

兵庫県キャンプ協会が二十歳になったのを機会に、指導者資格取得会員組織から一般キャンプ愛好者を含めた組織へと変革していく新たな一歩を踏み出していきたいものです。

20周年記念誌より